

平年収量が増減する都道府県の生産事情 (詳細版)

大臣官房統計部

令和 5 年 3 月 1 5 日

農林水産省

北海道（前回変動:令和4年）

1 スムージングスプラインによる算定結果及び主な生産事情

令和5年産水稻の10a当たり平年収量は561kg（対前年差+5kg）となった。

これは、主な生産事情として、冷害による極端な減収リスクが低下し、近年の収量水準が平年収量を上回って推移していること等によるものと考えられる。

2 近年の生産事情、作柄等

(1) 品種構成及び作柄地帯別の動向

品種構成の動向をみると、品種構成に大きな変化はみられない。（表1）

表1 品種別作付面積割合の動向

主な品種名	(参考) 10a当たり 収量水準 (kg)	年次別作付面積割合 (%)				
		30	R1	2	3	4
ななつぼし	598	45.1	45.8	45.0	45.7	45.2
ゆめぴりか	573	21.8	21.7	20.9	23.4	23.1
きらら397	616	9.4	9.5	10.0	9.1	9.4
ふっくりんこ	567	6.1	6.2	5.9	6.5	6.2
*風の子もち	601	3.3	3.1	3.3	3.4	3.4
*はくちようもち	603	2.4	2.4	2.3	2.5	2.4

資料：水稻作況調査結果等

注：1 10a当たり収量水準は原則として、最近7か年のうち最高及び最低を除いた5か年平均である。
2 作付面積割合は関係機関等の情報から推計した。
3 *印はもち米である。

作柄地帯別作付面積割合をみると、大きな変化はみられない。（表2）

表2 作柄地帯別作付面積割合の動向

地域（地帯）名	(参考) 10a当たり 収量水準 (kg)	年次別作付面積割合 (%)				
		30	R1	2	3	4
石狩	556	7.0	7.0	7.1	7.0	6.9
南空知	560	17.9	17.9	17.7	16.6	15.4
北空知	593	25.7	25.9	26.0	26.5	26.8
上川	595	28.2	28.4	28.2	28.8	29.5
留萌	547	4.1	4.0	4.0	4.1	4.2
渡島・檜山	507	6.7	6.7	6.8	6.7	6.9
後志	538	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
胆振・日高	517	4.9	4.6	4.7	4.8	4.8
オホーツク・十勝	536	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

資料：水稻作況調査結果等

注：1 10a当たり収量水準は原則として、最近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年平均である。
2 作付面積割合は関係機関等の情報から推計した。

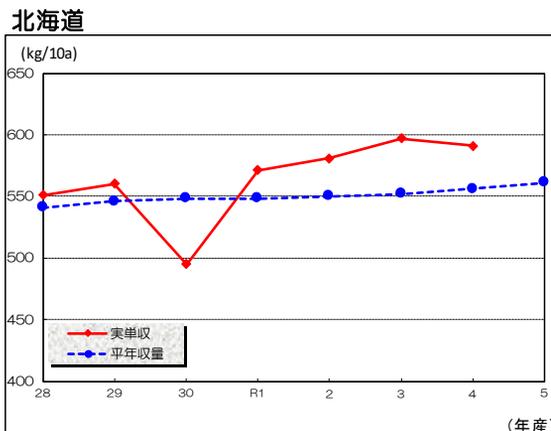
(2) 近年の作柄（気象効果を含む情報）

北海道における近年の10a当たり収量については、平年収量を上回って推移している。（図1）

収量構成要素については、平成19年から29年の平均値と平成24年から令和4年の平均値を比較すると、1㎡当たり全もみ数が0.3ポイント減少しているものの、千もみ当たり収量が1.2ポイント増加している、結果、10a当たり玄米重は0.9ポイント増加している。

（次ページ表3、4、図2）

図1 近年の10a当たり収量と平年収量の水準



北海道	28	29	30	R1	2	3	4	5
実単収	551	560	495	571	581	597	591	
7中5平均				571 (15)				
平年単収	541	546	548	548	550	552	556	561
前年差	2	5	2	0	2	2	4	5

資料：作物統計（7中5平均の（ ）内は平年対差）

表3 収量構成要素及びアメダスデータ

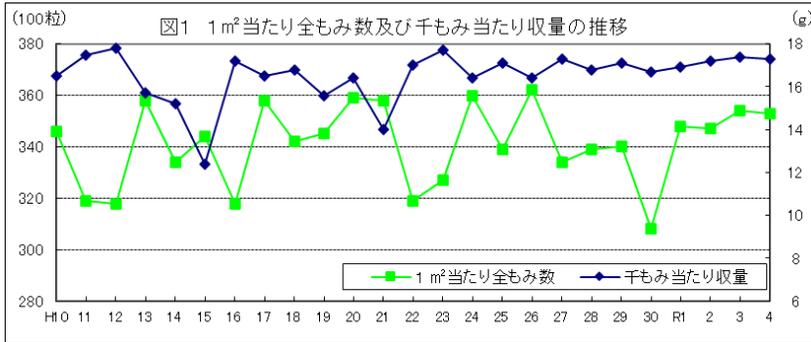
	H19～H29年 平均値 ①	平成30年	令和元年	2	3	4	対前年差	H24～R4年 平均値 ②	③= ②/①	ポイント差
1㎡当たり株数(株)	22.3	22.2	21.9	21.9	21.8	21.8	0.0	22.1	99.1	△ 0.9
1㎡当たり有効穂数(本)	559	500	599	538	574	540	△ 34.0	554	99.1	△ 0.9
1穂当たりもみ数(粒)	61.1	61.6	58.1	64.5	61.7	65.4	3.7	61.0	99.8	△ 0.2
1㎡当たり全もみ数(百粒)	343	308	348	347	354	353	△ 1.0	342	99.7	△ 0.3
千もみ当たり収量(g)	16.8	16.7	16.9	17.2	17.4	17.3	△ 0.1	17.0	101.2	1.2
玄米千粒重(g)	21.8	21.6	21.2	21.9	21.8	22.2	0.4	21.7	99.5	△ 0.5
10a当たり玄米重(kg)	576	513	588	598	616	609	△ 7.0	581	100.9	0.9
前40日平均気温(°C)	0.9	0.7	0.7	0.5	2.3	2.3	△ 0.1	0.8		△ 0.1
後40日平均気温(°C)	0.9	△ 0.8	0.5	1.6	1.0	0.5	△ 0.5	0.2		△ 0.7

資料: 作物統計、アメダスデータ(気象庁)

注: 1 アメダスデータ(平均気温)は、出穂最盛期前後40日間の1日当たりの平均(対前年差)。

注: 2 H19～H29年平均値及びH24～R4年平均値は、5中3移動平均7中5値(5中3平均を1年ずらして7つ作成し、その7中5平均を算出した値)である。

図2 1㎡当たり全もみ数及び千もみ当たり収量の推移



資料: 『作物統計』

表4 最近の作柄(平成28年産以降)

年次	全もみ数	登熟	(作況最終指数)
H28	—	○	102
29	—	○	103
30	※	—	90
R1	○	—	104
2	○	○	106
3	○	○	108
4	○	○	106

注: ◎: 良(多い)、○: やや良(やや多い)、
—: 平年並み、×: やや不良(やや少ない)、
※: 不良(少ない)

(参考) 栽培技術等の動向

健苗の育成や稲体の耐冷素質の向上を図り、良質・良食味米の安定生産に向け①育苗管理の徹底②深水管理とそれを可能とする畦畔整備③地力増進やほ場の透水性改善④防風対策等の栽培環境整備⑤適正施肥などの基本技術を守った栽培管理⑥いもち病予防のための薬剤消毒の徹底等の指導が行われている。

- ・ 農家戸数が減少する一方で1戸当たりの作付面積は増加傾向で推移し、労働不足に直面していることから「高密度播種」による育苗の増加が見込まれる。
- ・ 成苗移植の普及など安定生産に向けた栽培技術が定着している。

表3 主要3地帯における気温の平年値差(1991～2020平年値-1971～2000平年値)

	南空知(岩見沢)			北空知(滝川)			上川(旭川)			生育ステージ	
	平均気温	最高気温	最低気温	平均気温	最高気温	最低気温	平均気温	最高気温	最低気温		
1月	1	0.9	1.5	0.8	0.8	1.3	0.6	0.7	1.1	0.7	①えい花分化期 ～減数分裂期
	2	0.7	1.2	0.6	0.6	0.9	0.5	0.4	0.7	0.6	
	3	0.6	1.1	0.5	0.5	0.9	0.4	0.3	0.7	0.4	
	4	0.5	1.0	0.3	0.4	0.8	0.2	0.2	0.8	0.2	
	5	0.2	0.6	0.0	0.2	0.7	0.1	0.1	0.7	0.1	
	6	0.2	0.6	0.1	0.2	0.6	0.1	0.1	0.6	0.1	
8月	1	0.2	0.7	0.2	0.3	0.7	0.2	0.1	0.7	0.2	②出穂・開花期
	2	0.3	0.8	0.2	0.2	0.7	0.2	0.1	0.7	0.1	
	3	0.1	0.5	0.2	0.2	0.5	0.1	-0.1	0.5	0.0	
	4	0.0	0.4	0.0	-0.1	0.2	-0.2	-0.3	0.2	-0.2	
	5	0.0	0.6	-0.2	-0.1	0.3	-0.2	-0.2	0.4	-0.3	
	6	0.3	0.9	0.1	0.3	0.8	-0.1	0.2	0.9	-0.2	
9月	1	0.6	1.1	0.4	0.5	1.0	0.3	0.6	1.1	0.3	③登熟期
	2	0.7	1.2	0.6	0.7	1.0	0.5	0.8	1.1	0.6	
	3	0.7	1.1	0.6	0.6	0.9	0.5	0.6	1.0	0.6	
	4	0.5	0.9	0.4	0.5	0.8	0.3	0.5	0.8	0.4	
	5	0.3	0.8	0.2	0.3	0.7	0.1	0.4	0.8	0.1	
	6	0.5	0.8	0.4	0.5	0.8	0.4	0.5	0.9	0.3	

茨城（前回変動:令和3年）

1 スムージングスプラインによる算定結果及び主な生産事情

令和5年産水稻の10a当たり平年収量は527kg（対前年差+2kg）となった。

これは、主な生産事情として、収量水準の高い品種が増加傾向であること等によるものと考えられる。

2 近年の生産事情、作柄等

(1) 品種構成及び作柄地帯別の動向

品種構成の動向をみると、県平均よりも収量水準の高い「あきたこまち」、「あさひの夢」及び「ふくまるSL」が増加傾向にあり、令和5年産も同様の傾向になるものと考えられる。（表1）

表1 品種別作付面積割合の動向

主な品種名	(参考) 10a当たり収量 水準 (kg)	年次別作付面積割合 (%)				
		H30	R1	2	3	4
コシヒカリ	526	76.2	74.1	71.9	71.7	69.2
						-7.0
あきたこまち	554	11.3	11.5	11.5	11.6	12.5
						+1.2
あさひの夢	604	1.2	1.6	2.2	2.3	2.4
						+1.2
ふくまるSL	601	1.1	1.3	1.4	1.8	1.9
						+0.8

資料：水稻作況調査結果等

注：1 10a当たり収量水準は原則として、最近7か年のうち最高及び最低を除いた5か年平均である。

2 作付面積割合は関係機関等の情報から推計した。

直近の作柄地帯別作付面積割合をみると、大きな変化はみられない。（表2）

表2 作柄地帯別作付面積割合の動向

地帯（地域）名	(参考) 10a当たり 収量水準 (kg)	年次別作付面積割合 (%)				
		H30	R1	2	3	4
高収量地帯	539	16.0	16.1	16.3	16.6	16.7
中収量地帯	525	76.4	76.3	76.2	75.8	75.7
低収量地帯	497	7.6	7.6	7.5	7.6	7.6

資料：水稻作況調査結果等

注：1 10a当たり収量水準は原則として、最近7か年のうち最高及び最低を除いた5か年平均である。

2 作付面積割合は関係機関等の情報から推計した。

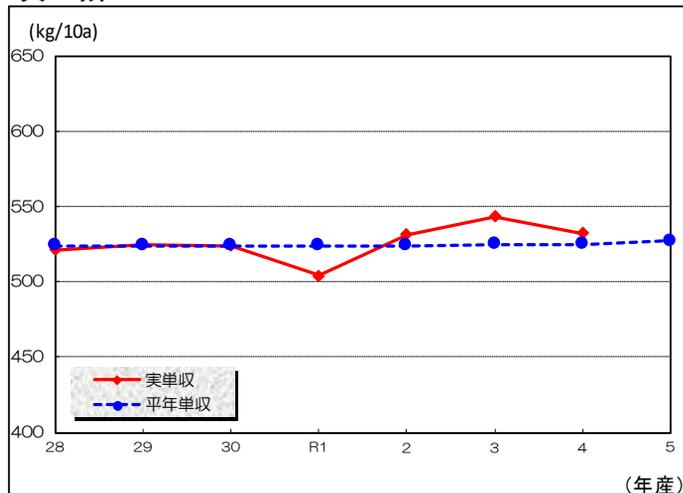
(2) 近年の作柄（気象効果を含む情報）

茨城県における近年の10a当たり収量については、概ね平年並で推移している。（図1）

収量構成要素については、平成19年から29年の平均値と平成24年から令和4年の平均値を比較すると、1㎡当たり全もみ数が1.6ポイント増加しているものの、千もみ当たり収量が1.1ポイント減少した、結果、10a当たり玄米重は0.7ポイント減少している。

（次ページ表3、表4、図2）

図1 近年の10a当たり収量と平年収量の水準
茨城



茨城	28	29	30	R1	2	3	4	5
実単収	521	525	524	504	531	543	532	
7中5平均	527 (2)							
平年単収	524	524	524	524	524	525	525	527
前年差	0	0	0	0	0	1	0	2

資料：作物統計（7中5平均の（ ）内は平年対差）

表3 収量構成要素及びアメダスデータ

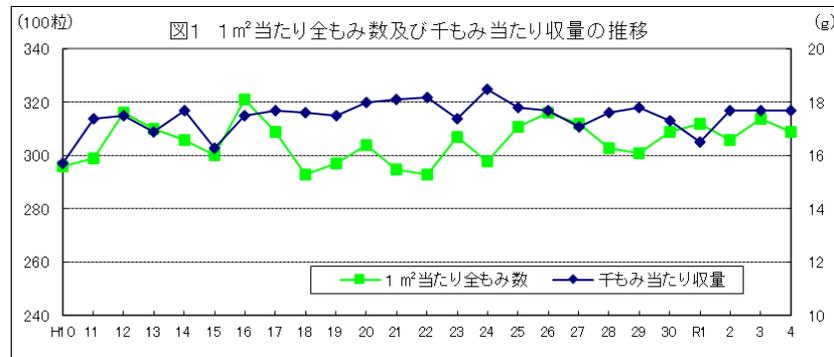
	H19～H29年 平均値 ①	平成30年	令和元年	2	3	4	対前年差	H24～R4年 平均値 ②	③= ②/①	ポイント差
1㎡当たり株数(株)	16.5	15.8	15.6	15.7	15.9	15.7	△0.2	16.1	97.6	△2.4
1㎡当たり有効穂数(本)	381	390	389	378	384	384	0.0	386	101.3	1.3
1穂当たりもみ数(粒)	80.8	79.2	80.2	81.0	81.8	80.5	△1.3	80.6	99.8	△0.2
1㎡当たり全もみ数(百粒)	304	309	312	306	314	309	△5.0	309	101.6	1.6
千もみ当たり収量(g)	17.8	17.3	16.5	17.7	17.7	17.7	0.0	17.6	98.9	△1.1
玄米千粒重(g)	20.9	20.6	19.7	20.3	20.6	20.9	0.3	20.7	99.0	△1.0
10a当たり玄米重(kg)	542	536	515	543	555	546	△9.0	538	99.3	△0.7
前40日平均気温(°C)	0.9	3.0	△0.1	△0.4	0.9	3.3	2.5	1.0		0.1
後40日平均気温(°C)	0.9	1.0	1.9	2.6	0.1	1.0	0.8	0.9		0.0

資料: 作物統計、アメダスデータ(気象庁)

注: 1 アメダスデータ(平均気温)は、出穂最盛期前後40日間の1日当たりの平均(対平年差)。

注: 2 H19～H29年平均値及びH24～R4年平均値は、5中3移動平均7中5値(5中3平均を1年ずらしで7つ作成し、その7中5平均を算出した値)である。

図2 1㎡当たり全もみ数及び千もみ当たり収量の推移



資料: 『作物統計』

表4 最近の作柄(平成28年産以降)

年次	全もみ数	登熟	(作況最終指数)
H28	—	—	99
29	—	—	99
30	○	×	99
R1	○	※	96
2	—	○	103
3	○	○	103
4	—	—	101

注: ◎: 良(多い)、○: やや良(やや多い)、
—: 平年並み、×: やや不良(やや少ない)、
※: 不良(少ない)

(参考) 栽培技術等の動向

高品質米の安定生産に向け、以下の指導が行われている。

- ・ 適期移植
- ・ 適期・適切な中干しによる茎数管理
- ・ 適期収穫と適正乾燥・調製
- ・ 健全な土づくり